

ネットの「直言」が千回を超えた憲法学者

ひと 2016



みずしま 水島
あさほ 朝穂さん

社会に対するちよつとした違和感や平和憲法、民主主義について、インターネット上で毎週1回公開している長文のエッセー「直言」が、昨年12月に千回を超えた。「時代を切り取る定時観測」と位置づけている。

まず更新している。米国の同時多発テロ、イラク戦争と自衛隊派遣、東日本大震災、そして昨年の安全保障関連法成立…。「直言」は安保法の国会論戦で、野党議員の質問のネタにたびたび引用された。ホームページ(<http://www.asaho.com/>)の閲覧は普段は1日千〜2千人だが、法案審議がヤマ場を迎えた昨年8月は5千人を超えた。「現場にこだわる思考」を心がけ、自ら国会前にも足を運び若者に交じってマイクを握った。昨年9月19日の成立直後の「直言」では「『廃止法案』をただちに国会に」と呼び掛けた。

東京都府中市生まれ。早稲田大大学院を出て札幌学院大助教授として6年間、北広島市に住んだ。20歳の時にも1カ月旅した道内は「第2の故郷」という。広島大助教授を経て96年から早大教授。10年後の1500回へ向けて今週も直言する。「平和憲法と立憲主義を守るために、したたかに、しなやかに闘い続ける」。62歳。（関口裕士）